



現計画策定以降の三重県のがんに係る
現状について

現がん計画の目標達成状況（がん予防分野：がん検診受診率）

- 策定時（H26年度実績）と現状値（R3年度実績）を比較すると、胃がん以外の受診率は減少している。

	目標	H26年度 実績 (策定時)	H29年度 実績	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績 (現状値)	H26⇒R 3
乳がん	50%	37.8%	41.1%	40.0%	40.8%	38.3%	36.5%	-1.3
子宮頸がん		54.2%	47.8%	43.4%	44.3%	42.2%	41.3%	-12.9
大腸がん		30.0%	26.8%	25.1%	24.0%	21.7%	21.8%	-8.2
胃がん		9.8%	28.7%	26.5%	24.8%	16.6%	15.5%	+5.7
肺がん		23.0%	23.4%	22.1%	21.0%	18.9%	18.8%	-4.2

出典：地域保健・健康増進事業報告

・対象年齢：40（子宮頸がんは20、胃がんは50）歳～69歳

・平成27年度より、がん検診の対象者の計上方法が変更となったため、実績は県独自集計（試算値）

現がん計画の目標達成状況（がん予防分野：がん検診受診率）

- 職域も含めたがん検診の受診率は継続して増加している。

		H28年度	R1年度	R4年度	H28⇒R4
乳がん	全国	44.9%	47.4%	47.4%	+2.5
	三重県	47.4%	49.6%	51.5%	+4.1
子宮頸がん	全国	42.3%	43.7%	43.6%	+1.3
	三重県	44.2%	43.8%	47.0%	+2.8
大腸がん	全国	41.4%	44.2%	45.9%	+4.5
	三重県	42.5%	43.1%	45.8%	+3.3
肺がん	全国	46.2%	49.4%	49.7%	+3.5
	三重県	45.6%	48.7%	48.6%	+3.0
胃がん	全国	40.9%	42.4%	42.1%	+1.2
	三重県	40.6%	41.0%	41.0%	+0.4

出典：国民生活基礎調査（3年ごとに調査を実施）

・対象年齢：40（子宮頸がんは20、胃がんは50）歳～69歳

現がん計画の目標達成状況（がん予防分野：精密検査受診率）

- 策定時（H26年度実績）と現状値（R3年度実績）を比較すると、乳がん以外の受診率は増加している。

三重県		H25年度実績 (策定時)	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績 (現状値)	H25⇒R2
乳がん		79.7%	75.7%	72.2%	82.7%	86.7%	75.8%	-3.9
子宮頸がん		63.1%	72.3%	70.3%	70.6%	76.8%	77.9%	+14.8
大腸がん		62.4%	66.0%	64.7%	62.7%	63.8%	63.7%	+1.3
胃がん	胃部エックス線検査	69.2%	65.0%	72.7%	72.9%	71.9%	71.9%	+6.9
	胃内視鏡検査		94.5%	84.1%	82.8%	95.8%	94.7%	+0.2
肺がん		65.3%	74.5%	74.2%	76.3%	83.3%	86.4%	+21.1

出典：地域保健・健康増進事業報告

- ・対象年齢：40（子宮頸がんは20）歳～74歳
- ・平成28年度からがん検診の実施内容の一部が以下のとおり変更
胃部エックス線検査（40歳以上、年1回）
⇒胃部エックス線検査（40歳以上、年1回）または胃内視鏡検査（50歳以上、2年に1回）

現がん計画の目標達成状況（がん医療分野：年齢調整死亡率（75歳未満））

- 年齢調整死亡率自体は低下しているものの、全国平均よりも10%以上低い状態にはなっていない。

	目標	H28年度 (策定時)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (現状値)	H28⇒R3
年齢調整 死亡率 (75歳未満)	全国平均 よりも ▲10%以上	69.0	67.4	64.1	64.3	66.7	61.2	-7.8
全国平均 との差		▲9.3	▲8.4	▲10.5	▲8.1	▲4.2	▲9.2	+0.1

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

現がん計画の目標達成状況（個別目標）

がんの1次予防の推進

分野別施策	項目	策定時	数値目標	R4現状	達成状況
喫煙防止	成人の喫煙率	17.7% (H28年調査)	12.0% (R4年度)	15.7%	B
	未成年者（15～19歳）の喫煙率	男1.4% 女 0% (H28年度調査)	0% (R4年度)	0%	A
	「たばこの煙の無いお店」登録数	428店 (H28年度末現在)	750店 (R4年度)	601店	B
	行政機関の敷地内禁煙の実施率	—	県施設 100% 市町施設 100% (R4年度)	県施設 100% 市町施設 100%	A

※5段階評価 「A 達成できる（既に達成している）」、「B 計画改訂時より改善」、「C 横ばい」、「D 計画改訂時より悪化」、「— 評価困難」

現がん計画の目標達成状況（個別目標）

がんの1次予防の推進

分野別施策	項目	策定時	数値目標	R4現状	達成状況
生活習慣の改善	1日あたりの平均脂肪エネルギー比率（30～59歳）	28.0%	25.0% (R4年度)	29.1%※	－
	成人1日あたり平均食塩摂取量	9.7g	8.0g (R4年度)	10.3g※	－
	成人1日あたり平均野菜摂取量	244g	350g (R4年度)	278g※	－
	肥満の人の割合（30～49歳男性）	28.7%	29.0% (R4年度)	34.8%※	－
	運動習慣者の割合（男性）	38.7%	45.0% (R4年度)	44.9%	B
	運動習慣者の割合（女性）	30.9%	37.0% (R4年度)	37.0%	A
肝炎対策	肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率	50%	80%	50%	C

※県民健康・栄養調査/H28,H29,R1年国民健康・栄養調査（三重県分）のデータを用いて算出した参考値

がんの教育・県民運動	小・中学校におけるがん教育の実施回数※	16校	76校	74校	B
------------	---------------------	-----	-----	-----	---

※外部講師を活用したがん教育の実施回数

※5段階評価「A 達成できる（既に達成している）」、「B 計画改訂時より改善」、「C 横ばい」、「D 計画改訂時より悪化」、「－ 評価困難」

現がん計画の目標達成状況（個別目標）

がん医療の充実

分野別施策	項目	策定時	数値目標	R4現状	達成状況
医療機関の整備と医療連携体制の構築、医科歯科連携の推進	三重医療安心ネットワークへの登録患者数	14,069人	22,400人	29,292人	A
	拠点病院・準拠点病院の指定数	6病院	10病院	9病院	B
	全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、手術前患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数	268人	318人 (R4年度)	268人	C
	全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、終末期・在宅がん患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数	143人	193人 (R4年度)	143人	C
	三重県がんリハビリテーション研修会実行委員会によるがんリハビリテーション研修会の開催回数	3回	9回	8回	B

※5段階評価「A 達成できる（既に達成している）」、「B 計画改訂時より改善」、「C 横ばい」、「D 計画改訂時より悪化」、「- 評価困難」

現がん計画の目標達成状況（個別目標）

分野別施策	項目	策定時	数値目標	R4現状	達成状況
手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法のさらなる充実とチーム医療の推進	拠点病院・準拠点病院におけるチーム医療体制の整備数	6病院	10病院	9病院	B
	拠点病院・準拠点病院における日本放射線腫瘍学会が認定する放射線治療専門医数	4病院9人	10病院10人	7病院13人	B
	拠点病院・準拠点病院における日本臨床腫瘍学会が認定するがん薬物療法専門医数	4病院7人	10病院10人	6病院15人	B
	拠点病院・準拠点病院における日本がん治療認定医機構が認定するがん治療認定医数	6病院71人	10病院100人	9病院110人	B
	拠点病院・準拠点病院の外来化学療法室等における日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師数	2病院5人	10病院10人	3病院9人	B
	拠点病院・準拠点病院における日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）数。また、日本看護協会が認定する認定看護師（がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）数	専門看護師 5病院6人 認定看護師 6病院23人	専門看護師 10病院10人 認定看護師 10病院50人	専門看護師 8病院10人 認定看護師 9病院33人	B
小児がん、AYA世代のがん対策	三重大学医学部附属病院で育成する日本小児血液・がん学会が認定する小児血液・がん専門医数	4人	7人	5人	C
がん登録の推進	がん登録研修会の参加者数	81人	681人	402人	B

※5段階評価「A 達成できる（既に達成している）」、「B 計画改訂時より改善」、「C 横ばい」、「D 計画改訂時より悪化」、「- 評価困難」

現がん計画の目標達成状況（個別目標）

がんと共生

分野別施策	項目	策定時	数値目標 (R5年度)	R4 現状	達成 状況
がんと診断された時からの緩和ケアの推進	メディカルスタッフを対象とした緩和ケア研修の実施箇所数	8 箇所	10箇所	9箇所	B
	がん医療に携わる医師の9割以上が緩和ケア研修を修了している拠点病院・準拠点病院数	2 病院	10病院	2病院	C
	拠点病院・準拠点病院における緩和医療学会が認定する専門医または暫定指導医もしくは認定医数	3 病院 3 人	10病院10人	5 病院13人	B
相談支援および情報提供の充実	地域におけるがんサロンの運営数	7 箇所	8 箇所	8 箇所	A
	拠点病院、準拠点病院および三重県がん相談支援センターにおける国立がん研究センター主催の「相談支援センター相談員基礎研修（3）」の修了者数	17名	31名	49名	A
	三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会によるがん相談員研修会の開催回数	1 回	7 回	5 回	B
社会連携に基づくがん対策・がん患者支援、在宅医療の推進	がん患者の在宅（介護老人保健施設、老人ホーム、自宅）死亡割合	16.5%	21.0%	29.6%	A
がん患者の就労支援を含めた社会的な問題	がん患者等の就労について理解を得られた事業者数	482社	1,922社	1,766社	B

※5段階評価 「A 達成できる（既に達成している）」、「B 計画改訂時より改善」、「C 横ばい」、「D 計画改訂時より悪化」、「- 評価困難」

成果

- 運動習慣者の割合（女性）や拠点病院、準拠点病院および三重県がん相談支援センターにおける国立がん研究センター主催の「相談支援センター相談員基礎研修（3）」の修了者数など、一部の目標は達成することができている。
- 目標値に達していないものの、一部の目標を除き概ね策定時の数値より改善することができている。

課題

- がん検診受診率および精密検査受診率の数値は改善してきているが、近年の伸びは鈍化してきており、目標を達成することができていない。
- 策定時から改善しているものの、目標値にははるかに届いていない目標が存在する。



達成できた目標の評価や達成できていない目標の要因を分析するとともに、今後重視すべき目標や見直すべき目標について検討し、ロジックモデル等の考え方を参考にしつつ、次期計画の目標設定や達成に向けた考え方を整理する必要がある。